

TOTO

リモデル便器

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けにいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表 示	意 味
	注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	してはいけない「禁止」内容です。		必ず実行していただく「強制」内容です。
--	------------------	--	---------------------

	陶器に衝撃を与えない 陶器が破損してけがをしたり、水漏れのため家財を汚す原因になることがあります。
	異物が便器に詰まった際には、排水管内へ押し出さない 排水管内で異物が詰まり、建物全体に損害を与えるおそれがあります。
	設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する

2 同梱部品の確認

※部品があるか、下記を参照して確認してください。

便器本体	便器接続部(ゴムジョイント付き)	その他
	 横引管	取扱説明書 (1冊) 施工説明書 (1枚) 位置決めシート (1枚)
固定片	固定金具類	
固定片 (2個) 木ねじ(固定片用) (φ6×50: 4本) ワッシャー (4枚)	【補修品番: T53DN】 便器取付木ねじ (φ6.2×63: 2本) 化粧キャップ(後) (2個) ワッシャー(後部固定用) (2枚)	皿木ねじ (φ5.8×63: 2本) 【補修品番: H262】 化粧キャップ(横) (2個) 木ねじ(便器接続部用) (φ6×60: 2本)

〈別途発注いただくもの〉

名 称	品 番	備 考
樹脂プラグ	HH04060	φ8 (10個/1組)
排水エルボ	UAGFWS110	

3 各部の名称と施工のポイント

ポイント③
木ねじを強く締め過ぎて便器を割らないように注意すること！ (➡④)

便器取付木ねじ
化粧キャップ(後)
ワッシャー(後部固定用)
皿木ねじ(φ5.8×63)
化粧キャップ(横)
木ねじ(便器接続部用)(φ6×60)

ポイント①
便器接続部の取付基準線は、壁から100mmの位置にすること！ (➡①)

※取付基準線
横引管
エルボ本体
Pシール
フランジ
排水エルボに同梱

ポイント④
後ろ側の固定を先にすること！
締め過ぎて便器を割らないこと！ (➡④)

木ねじ(固定片用)(φ6×50)
ワッシャー(固定片用)
固定片

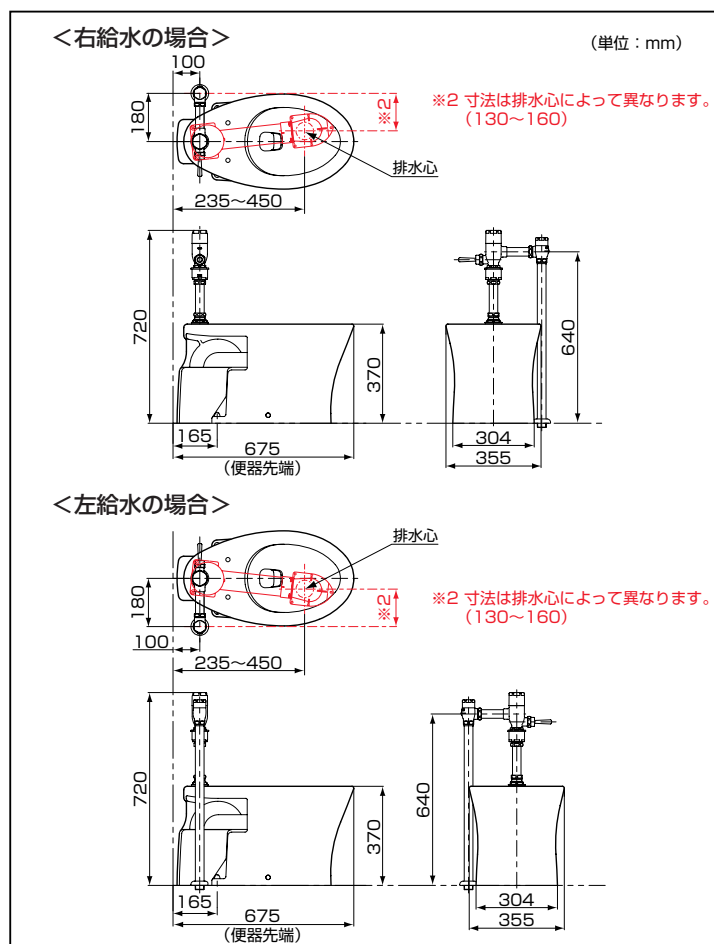
ポイント②
位置決めシートで固定片の位置をきちんと出すこと！ (➡①)

施工完成図(例)
〈左給水の場合〉

50以内 ※1
※1 寸法は排水心によって異なります。(20~50)
(単位: mm)

4

便器施工完成図



5

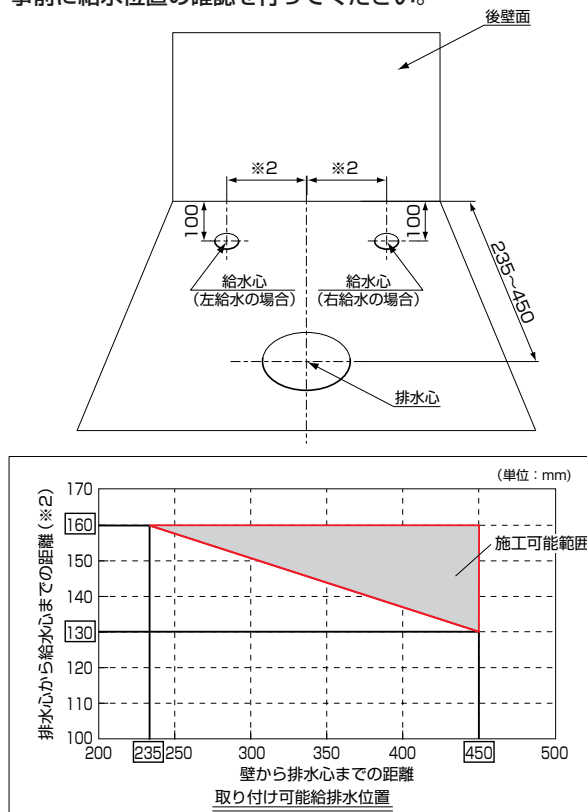
施工前の注意

■取り付け可能給排水位置

※施工前の確認

事前に給水位置の確認を行ってください。

(単位：mm)



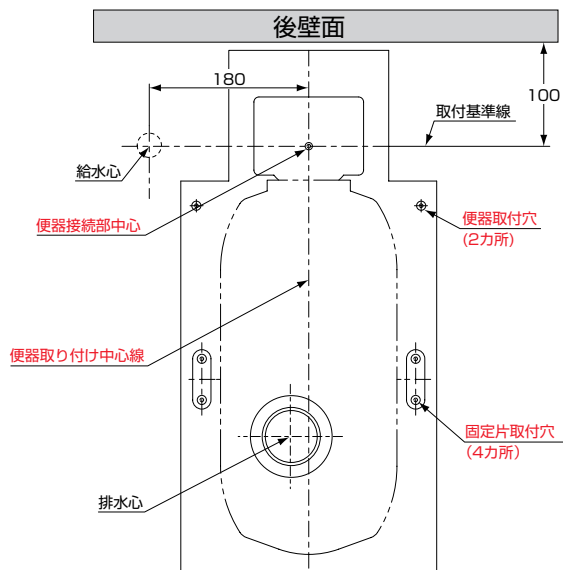
6

施工要領

1-A 位置決めシートの位置決め (左給水の場合)

- ①後壁面から100mmの位置に取付基準線をけがく。
- ②給水心から180mmの位置に便器取り付け中心線をけがく。
- ③取付基準線・便器取り付け中心線に合わせて位置決めシートを置く。
- ④便器接続部中心・便器取付穴位置・固定片取付穴位置をけがく。

(単位：mm)

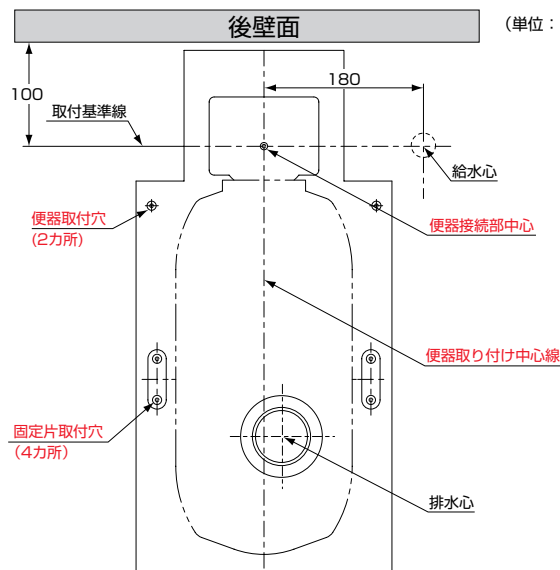


※後壁面から取付基準線の寸法が100mm未満になると、便器が後壁面に干渉し、便器が取り付けられないおそれがあります。

1-B 位置決めシートの位置決め (右給水の場合)

- ①後壁面から100mmの位置に取付基準線をけがく。
- ②給水心から180mmの位置に便器取り付け中心線をけがく。
- ③取付基準線・便器取り付け中心線に合わせて位置決めシートを置く。
- ④便器接続部中心・便器取付穴位置・固定片取付穴位置をけがく。

(単位：mm)



※後壁面から取付基準線の寸法が100mm未満になると、便器が後壁面に干渉し、便器が取り付けられないおそれがあります。

このつづきは、排水エルボに同梱の施工説明書を参照して、施工を行ってください。

このつづきは、排水エルボに同梱の施工説明書を参照して、施工を行ってください。

② 床面への下穴加工

■便器および固定片取付位置に下穴をあけ樹脂プラグを打ち込む。

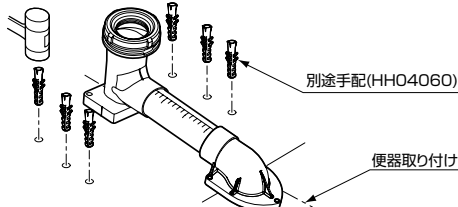
⚠ 注意



指定寸法の下穴をあける

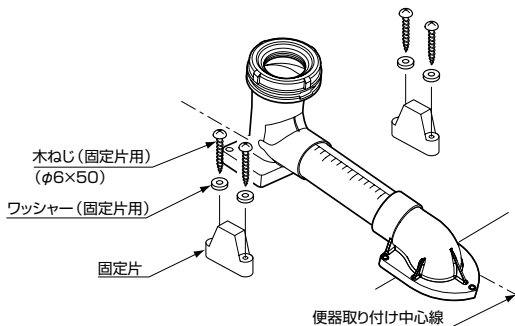
下穴が正しくない場合、固定力が確保できずに便器がガタつくおそれがあります。

部材名称	下穴径	下穴深さ	使用樹脂プラグ
固定片	φ8	55	別途手配(HH04060)



③ 固定片の取り付け

固定片を所定の位置に、ワッシャー（固定片用）・木ねじで床に固定する。



④ 便器の取り付け

- ①便器排水口および排水ソケットの接続部周辺のごみや汚れを取り除き、便器排水口を便器接続部に差し込む。
- ②便器後側の取付穴（2カ所）に便器取付木ねじ・化粧キャップ（後）・ワッシャー（後部固定用）を差し込み、便器を床に固定する。
- ③便器側面の取付穴に皿木ねじを差し込み、固定片に便器を固定し、ねじの頭に化粧キャップ（横）を差し込む。

手順1

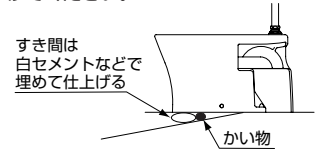
木ねじを締め付けてください。
締め過ぎて便器を割らないように注意してください。



手順2

皿木ねじを締め付けてください。
最後の締め増しは手締めにより行い便器を割らないように注意してください。

床面に不陸がある場合、大便器下面にかい物をして大便器を固定したあと、すき間を白セメントなどで埋めて仕上げてください。



⚠ 注意



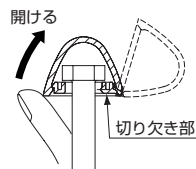
便器後ろ側の固定を必ず先に行うこと

横側の固定を先に行くと、便器が横へスライドし、ゴムジョイント部から水漏れするおそれがあります。

⑤ 化粧キャップ付きねじの構造

⑤-1 取り付け

- ①最初に化粧キャップ（後）を開ける。
開け方は、便器取付木ねじを手で持ち切り欠き部をよけて化粧キャップ（後）の下部を矢印の方向に指で押し上げる。

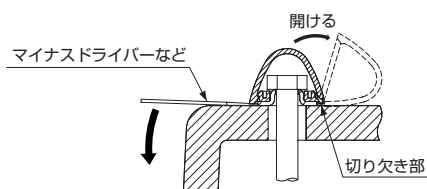


- ②便器取付木ねじを取り付ける前に、化粧キャップ（後）とワッシャー（後部固定用）の順番、向きを確認し、間違えないよう取り付ける。
- ③便器取付木ねじを取り付けたあとは、化粧キャップ（後）を矢印の方向に曲げて「パチッ」と音がするまで押し込む。



⑤-2 取り外し

■施工後に便器取付木ねじを外すときは、マイナスドライバーなどを使用し、化粧キャップ（後）の切り欠き部をよけて下部に差し込み、矢印の方向に押さえて開ける。



⑥ フラッシュバルブの取り付け

■フラッシュバルブの取り付けに当たっては、フラッシュバルブ付属の施工説明書に従ってください。

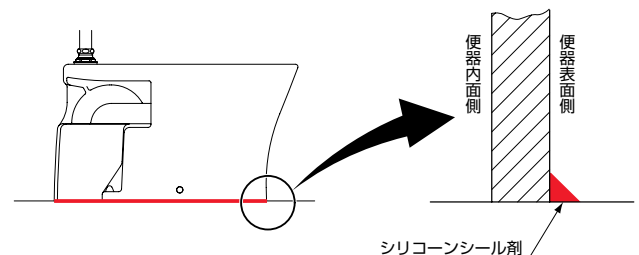
⚠ 注意



施工後に便器洗浄を行い、給水接続部より水漏れがないことを確認する

お客様に快適に使っていただくためのポイント

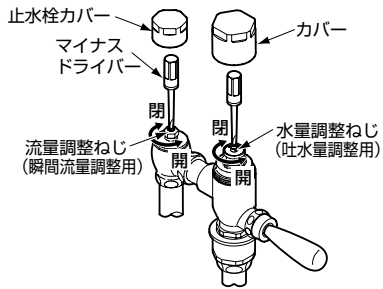
■便器下部と床のすき間に掃除の際の水や小水が入り込みますと、床シミの原因となりますので、便器下部周囲に防カビ性の透明シリコンシーラントを塗布し水や小水の浸入を防止することをおすすめいたします。



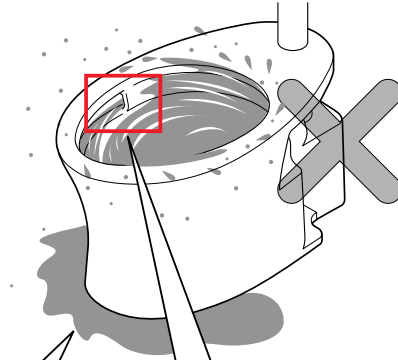
フラッシュバルブの調整

■下図を参考に、フラッシュバルブの止水栓部の流量調整ねじを回して、瞬間流量を調整してください。

節水形マニュアルフラッシュバルブの場合
(TV760、860系)



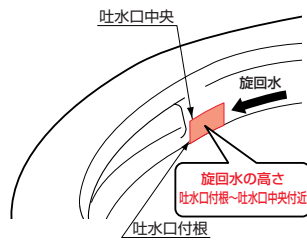
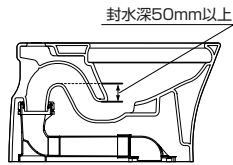
(閉 (時計回り)・・・水勢が弱くなります。
開 (反時計回り)・・・水勢が強くなります。)



水勢が強すぎると水が外に
飛び出すおそれがあります。

<吐水量の調整>

現場の条件により、大便器洗浄後ボウル内の水
たまりが戻りにくいことがあります。
大便器取り付け後、5回以上洗浄したあとで、
大便器水封が50mm以上あることを確認して
ください。
もし封水深が50mm未満の場合は、50mm以
上になるように水量調整ねじで吐水量を最大
8Lまで調整してください。



ワンポイント

一周した旋回水の高さ
が上図の ■ の範囲内
になるように流量調整
ねじを調整してくださ
い。